

| | | | | | |
|----------|----------------------------------|--------------|----------------|--------------------|-------------|
| 開設講習名 | 【選択】理科野外実習（地学分野 －大地のつくり－） | | 講 師 | 千々和 一豊 | |
| 講習会場 | 山口大学吉田キャンパス | | 会場所在地 | 山口県山口市 | |
| 開 設 日 | 平成 29 年 8 月 17 日 | | 時間数 | 6 時間 | 受講予定人数 20 人 |
| 受講者募集期間 | 平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日 | | 履修認定時期 | 平成 29 年 9 月 30 日まで | |
| 履修認定対象職種 | 教諭 | 主な受講対象者 | 小学校教諭, 中学校理科教諭 | | |
| 受講料等総額 | 6,000 円 | (うち受講料以外の経費) | | | |

【到達目標】

野外での観察実習を通して、理科(地学分野)における自然観察・野外実習の指導に必要な知識や技能を修得するとともに、自然(物・現象)についての科学的知識・理解を深め、野外実習指導力の向上を目指す。

【講習の概要】

「大地のつくりとその変化」は、自然のつくりを理解し、身の回りの自然環境を知るテーマとして小学校・中学校の理科において、共通の学習項目になっている。自然の事物を理解し、自然の有り様(システム)を認識するための学習方法として、野外における自然学習が重要かつ有効であるが、学校現場では様々な制約から野外学習は実施されにくい状況が続いている。そこで本講座では、野外での地層・化石・岩石の観察実習を通して、身の回りの自然環境の理解を深めるとともに、児童・生徒への当該分野の指導の改善に資するため、以下の具体的目標を設定し、そのための実習を行う。

具体的目標

1. 地層のでき方を理解し、地層の見方を修得する。
2. 地層からどのような情報が得られるか説明できる。
3. 当該地域の大地のつくり・地史を説明できる。

実習内容

1. 不整合を観察し、その成因を考える
2. 地質柱状図を作成し、地層の厚さ、層理面の特徴を把握する
3. 堆積構造を観察し、その成因を考える
4. 化石層を追跡し、化石の産状を調べる
5. レキの特徴(大きさ・形・礫種)を調べる
6. 岩脈の特徴(伸長方向・層厚・岩石種)を調べる

なお、「野外実習」は長門市境川海岸と下関市特牛(和久)海岸の2ヶ所で行う予定です。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法: 口頭試験

評価基準: 合格:実習内容を理解でき、説明できる。

不合格:上記以外

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。参考文献として「山口県の岩石図鑑」(第一学習社, 山口地学会編, 1990 発行)があります。

【受講者への伝達事項】

筆記用具、弁当、飲み物を用意してくる。また、雨具も含め、帽子等、夏の野外での実習に対応できる服装で参加すること。なお、実習コースは主に岩石海岸であり、靴は動きやすいハイキングシューズや運動靴がよい。移動はバスを利用します。

実習に必要な用具(岩石ハンマー、クリノメータ、折尺等)は、現地にて各自に配布します。